

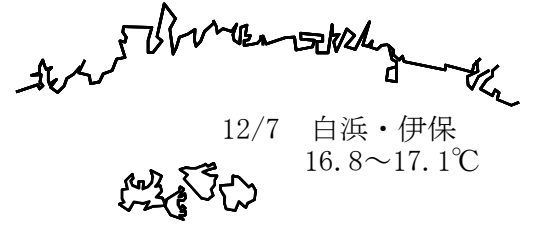
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 6 号)

平成28年12月9日発行
 兵庫のみ研究所

窒素は、地先において一部漁場を除き概ね5~6 $\mu\text{g at / L}$ 、沖合漁場では概ね6~8 $\mu\text{g at / L}$ 台となっています。一部、大型珪藻コシノディスカスや群体を形成する珪藻の見られる漁場がありましたが、全体的な珪藻の発生量は前回(11/29)調査と比較し減少しています。

(栄養塩、珪藻) 赤穂地区の地先でコシノディスカス及び群体を形成する珪藻(タシボシの一種。淡黄色の油玉状に見える)がやや多いが、沖筋では少なく陸水等の影響もあり栄養塩は高い値を示した。網干地区でも同様の珪藻が散見されるため、窒素は3 $\mu\text{g at / L}$ 台とやや低い値であった。沖合漁場においてもこれら珪藻が確認されるが、発生量は少なく窒素は概ね6~8 $\mu\text{g at / L}$ 台で推移している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	5.1	5.8	5.2	5.8
	リン	0.62	0.54	0.57	0.57
家島・坊勢	窒素	6.7	7.0	5.8	5.2
	リン	0.70	0.71	0.69	0.65

(11/29) (12/10)

栄養塩(窒素) 図

平成28年12月9日調査

